

第94回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成17年4月15日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 502会議室

出席者：委員長 大崎（東京大）
 副委員長 北野（JR東海）
 委員 海老原（五島育英会）、築島（三菱電機）、牧（東海大）、水間（交通研）、
 増澤（茨城大、代理福長）、矢野（産総研）
 幹事 水野（信州大）、村井（鉄道総研）
 幹事補佐 真田（大阪府立大）、鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 94-1 第93回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 94-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 94-3 第76回産業応用部門研究調査運営委員会議事録(案)（大崎委員長）
- 94-4 平成16年度リニアドライブ技術委員会活動報告（大崎委員長）
- 94-5 平成17年度活動計画（大崎委員長）
- 94-6 平成17年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 94-7 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 94-8 リニアドライブ研究会（鳥居幹事補佐）
- 94-9 リニアドライブ研究会のご案内（矢野委員）
- 94-10 SPEEDAM2006 First Announcement and Call for Papers（大崎委員長）
- 94-11 EPE-PEMC2006 Call for Papers（大崎委員長）
- 94-12 PCC-Nagoya2007 First Announcement（大崎委員長）
- 94-13 第5回産業用リニアドライブ国際シンポジウム(LDIA2005)の準備状況について（小豆澤委員）
- 94-14 リニアドライブ技術委員会 委員交代について（大崎委員長）
- 94-15 委員会構成員変更届（大崎委員長）
- 94-16 超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会（SLD）活動報告（北野副委員長）
- 94-17 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会（LMD）活動報告（楡井委員）
- 94-18 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 94-19 MDD第1回幹事会議事録（矢野委員）
- 94-20 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 94-21 第10回超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会議事録（北野副委員長）
- 94-22 第12回産業用リニアモータの特性測定法と評価方法調査専門委員会議事録（水野幹事）
- 94-23 第17回リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会議事録（楡井委員）
- 94-24 第18回リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会議事録（楡井委員）

議事

議事に先立ち、優秀論文発表賞Aの授賞式が行われた。

1 議事録確認

資料 94-1 を用いて議事録の確認を行い、2.8「…報告がった」を「…報告があった」に修正の後、承認された。関連して、優秀論文発表賞は、D部門大会で一括ではなく、本部表彰は技術委員会で、部門表彰は部門大会で行われることになったことが報告された。さまざまな表彰の仕方についての議論があった。

2 報告事項

- 2.1 資料 94-2 を用いて、委員会名簿の確認を行った。海老原委員の所属「顧問」を消すこととした。
- 2.2 資料 94-3 及び 94-4 を用いて、大崎委員長より、D部門運営委の報告があった。技術報告執筆の手引きの改訂があったこと、SLD委の解散は報告書期限を8月として承認されたこと、MEL委及びECD委の設置が承認されたことが報告された。本技術委員会の活動報告も行われたが、特に問題

はなかった。今後行われるシンポジウム等の余剰金については、産業応用フォーラム兼と謳い、その枠で扱うことが奨励される。さらに、ECD関連シンポジウムの協賛が承認され、SLDの未発行報告書については2回分のまとめと明記することが指定されたとの報告があった。

- 2.3 資料 94-5 を用いて、大崎委員長より、H17年度活動計画が紹介された。関連して、資料 94-6 を用いて、平成17年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
 - (1) LD研究会：7月は7/21, 22を予定。7/22午後にはリニア地下鉄の見学予定。
 - (2) LD研究会：11月は11/10,11アクトシティ浜松で、12月は沖縄で開催予定。
- 2.4 資料 94-7 を用いて、真田幹事補佐より、資料提出スケジュールについての確認が行われた。関連して、各委員会の技術報告の執筆状況の確認が行われた。
- 2.5 資料 94-8 を用いて、鳥居幹事補佐より、6/2,3開催予定のリニアドライブ研究会についての紹介があった。会場は電気学会本部、発表予定数は9件であり、6/2に懇親会が行われる。積極的な参加の勧誘があった。
- 2.6 資料 94-9 を用いて、矢野委員より、11/10,11開催予定のリニアドライブ研究会についての紹介があった。会場はアクトシティ浜松、申し込み締め切り予定は8/10の予定である。
- 2.7 資料 94-10,11,12 を用いて、大崎委員長より、SPEEDAM2006, EPE-PEMC2006, PCC-Nagoya の開催の紹介があった。電磁力シンポの当初予定とSPEEDAMが重なるので、日程をずらす方向で検討中であるとの説明がなされた。
- 2.8 資料 94-13 を用いて、大崎委員長より、LDIA2005の準備進行状況についての説明があった。keynote 除き152件のabstractを受理しており、うち日本63件、中国17件、韓国13件である。助成金の申請・獲得状況、事務局業務の委託について、出版について、協賛等の状況についての状況が報告された。Technical Tourについての議論があり、午前には姫路城、午後には地下鉄という方向性が示され、地下鉄見学については水間委員経由で依頼できるとの助言があった。八尾病院については神鋼電機の紹介を得ているので、詫びる必要があるとのこと。開催が近くなってきたので、参加者増加の勧誘をすることが合意された。開催前に愛知万博に行けばリニオに乗れる、というアナウンスもすべきであるとの意見があった。

3 審議事項

- 3.1 資料 94-14 を用いて、大崎委員長より、LD技委の構成についての説明があり、委員構成についての議論が行われた。古関委員は1号委員としては退任し、論文幹事として参加することとなった。藤井、脇若、増田(1号委員)は任期切れとなること、新田委員が退任となることが報告された。大崎委員長が任期となるため、1号委員となり、新委員長を選任することになった。1号委員の中から立候補がなかったため、幹事グループ案として小豆澤委員が推薦され、承認された。幹事グループは留任することとした。追加委員については、前任者に推薦して頂くこと、リニアに関与する業務に携わっていること、委員会に参加できることが条件となることが確認された。適任者が10人程度挙げられ、具体的な選任は幹事グループに一任することとした。
- 3.2 大崎委員長より、LDIAに続く、部門誌特集テーマの提案が必要であるとの認識が示され、議論があった。関連して、新調査専門委を含む、新機軸を打ち出す必要があるとの意見があった。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 94-16～94-24 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上